

平成29年 第4回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成29年3月22日（水）

平成29年 第4回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成29年3月22日(水) 午後3時00分～
- 2 場所 小林中央公民館 2階 集会室
- 3 出席委員 槇健一郎 大部菌智子 山中悦郎 大角安子 中屋敷史生
- 4 参与職員 山下康代 上別府優 深田利広 大山和彦
(調整職員) 野口健史

5 議事

(報告)

報告第7号 平成29年第2回市議会定例会(3月議会)について

報告第8号 小林市スポーツ推進審議会からの答申について

(議案)

議案第7号 小林市スポーツ推進計画について

議案第8号 市職員(教育委員会事務局)の人事異動について

6 会議内容

開会 15:00

槇委員長 こんにちは。ただいまより平成29年3月15日付小林市教育委員会告示第4号で招集されました平成29年第4回小林市教育委員会定例総会を開催したいと思います。さっそく、議事に入りたいと思います。

まず、報告に入りたいと思います。

報告第7号平成29年第2回市議会定例会についてお願いいたします。

山下教育部長 それでは、報告第7号平成29年第2回市議会定例会(3月議会)について報告いたします。

4ページをお開きください。

今回の議会は2月27日に開会されまして、今週の金曜日である24日が最終日となっております。

まだ閉会しておりませんが、一般質問、議案質疑、委員会については終わりましたので、報告という形でさせていただきます。

今回は、一般質問については14名が質問されましたが、教育委員会に関しては7名の方の質問がありました。

まず、5ページ、高野議員ですが、スポーツ振興と教育行政についてということで質問がありました。

6ページをお開きください。スポーツ振興についてということで、まだマラソン大会がある2日前であったんですけども、マラソン大会についてということで、これまでの経緯、それから市民の協力体制、ホテル・旅館の宿泊状況ということで質問がありました。

12月末にはまだ300名程度のエントリーであったんですけども、目標としておりました1,500名を超える1,728名のエントリーがありましたということで答えております。それから、ホテルとか旅館の宿泊状況については、全てを確認したわけではないんですが、数カ所電話をして確認をさせていただきましたが、確認をしたところは全て満室であったというような状況でありました。

7ページをご覧ください。スポーツ振興についてということで、やはり市民の参加者、それから市民の協力体制、参加者の保険、コスプレの許可、各種目のエントリー数、市長は走られますかというような質問がありましたので、それぞれで私と教育長、市長とが答えております。

それから、8ページをご覧ください。子ども議会の開催についてということで、実施する考えはないかという質問でした。

教育長から、これまでも何回か御質問がありましたので答弁しておるんですけども、小林では平成15年まで子ども議会を行っておりました。

しかし、課題といたしまして、子どもの発信の内容が市に対する要望が中心となっていること、それから広がりが見られなかったこと、参加する子どもが一部に限られてしまうことと、最後が一番問題なんですけれども、議会を開会するまでに指導、準備、打ち合わせ等に相当の時間を要するというので、小林の子ども議会というのは中止になった経緯があります。

現在でも開催は考えておりません。しかし、本年度、木造の新しい議会棟が完成しますので、議会の傍聴、それから議場の見学については、十分呼びかけてまいりたいということで答弁しております。

それから、9ページになります。鎌田議員から高齢者の支援ということで、社会参加と雇用対策ということで質問がありました。

10ページになります。シニア世代に力を発揮してもらえるよう社会参加を推進する必要があると思うが、教育長の見解を伺いますということで質問がありました。

教育長から、シニア世代の社会参加につきましても大変重要であると考えておられて、教育委員会では、0歳から100歳までの小林教育プランということでさまざまな事業を展開しているところでありまして、それぞれの事業の説明をしております。

それから、地域の活力を維持増進する取り組みができないかということで質問がありましたので、私から、今やっています生きがい学級、しあわせ学園、市民大学講座などの内容を回答しております。

12ページになります。下沖議員ですが、情報化の推進ということで、学校教育におけるICTの推進について質問がありました。

13ページになりますが、本市の学校教育におけるICTの推進の現状、課題などありましたらお聞かせくださいということで、教育長が各学校に配置してありますICTの現状とか課題を述べております。

14、15、16ページ、それぞれ下沖議員の質問がありましたので答えております。内容については、後ほどご覧いただきたいと思っております。

それから、18ページになります。蔵本議員から、苦しい生活者への支援強化ということで、格差・貧困社会における本市の現状ということと、入学準備金（新入学児童生徒）の支給についてという質問がありました。

19ページになりますが、就学援助のうち準要保護児童生徒の認定状況はどうなっているかということで質問がありましたので、私が現状を答えております。

それから、20ページになりますが、上から4行目です。入学準備金（新入学児童生徒学用品費）の支給についてということで、趣旨、対象者、支給額、時期についての質問がありましたので、私が答えております。

それから、蔵本議員から、実際に入学準備金にかかる費用はどのくらいになるのかということで、教育委員会で把握した金額を教育長が答弁してお

ります。

それから、蔵本議員から、入学準備金は多くの自治体が工夫をして支給時期を入学前に間に合うように取り組んでいるが、これをやる考えがあるかどうかということと、もう一つ、現在、文部科学省が支給単価の値上げを検討しているが、これに対して値上げする考えはないかということで質問がありました。

これについては、市長が、教育委員会と詰めていきたいということで答弁されたんですけども、文部科学省が簡単に数値は出しているんですが、財源は全くついてこない状況にあります。財源的には、ふるさと納税等を子育て支援に活用するというので今後検討してみたいということで市長が答弁しております。

教育長から、入学前に準備金を支給するというのは、昨年度から幾つかの自治体でもう行われております、国も全国の動きについて調査をしている状況ですので、援助費、それから奨励金の支給費目等については、事前に支給ができるものがないかといった検討を今後していきたいと答弁しております。

それから、22ページになります。原議員です。2番のJ R吉都線利用促進協議会と本市の関係についてということと、4番の自然環境などの地域資源を活用した取り組みについて、スポーツ振興の取組についてということで質問がありました。

23ページになります。J R吉都線の沿線自治体や住民との地域活性化の取組ということで、以前、市長が協議会を立ち上げると言われたんですけども、その協議会の中に小中学生を委員として参画させて、意見、考えを述べる機会を設けてはどうかということで質問がありました。

教育長から、まちづくりにとっては大変いいことだということで答えたんですけども、ただ、小中学生が授業日や夜間に協議会に参加するとなりますと授業や家庭生活の面からの課題もありますので、そのことを解消していかなければならないと思いますので、その会の持ち方によると思いますと答弁をいたしました。

それから、24ページになりますが、スポーツ振興ということで、ツデー

一マーチ、それからマラソン大会が行われたわけですが、今後さらに多くの市民や市外者が取り組みやすいものになるような環境整備の考え方ということで市長に質問がありました。市長は、大会が定着することでウォーキング、ジョギングを行う市民がふえていくことを期待しているということで答えております。

それから、原議員の質問日はマラソン大会があった次の日で、原議員も実際走られたんですけども、大会の参加料3,000円のこと、それからフルマラソン、ハーフマラソンの計画はないかというような質問がありましたので、スポーツ振興課長が答弁をいたしました。

それから、24ページになります。時任議員です。ギャンブル依存症の実態と対策ということで、ギャンブル依存症の見解について質問がありました。教育長が、見解と学校でやっております対策についての答弁をいたしました。

それから、27ページになります。坂下議員から農家民泊について、現在学校で農家民泊をやっているんですけども、農家民泊のタイムスケジュールは、学校と北きりしま田舎物語とが連携して十分協議した中で取り組んでいるのかということで質問がありました。これに対しては、学校と北きりしま協議会が協議を事前にいたしまして計画しておりますと答弁しております。

29ページになります。坂下議員から、公共施設の利用についてということで、市外のスポーツ少年団との練習試合などでは合同利用が有料になっていますが、その理由はということでお尋ねがありました。

小林の社会体育施設においては、市内同士のチームによる合同利用、練習試合というのは現在無料としております。小中学生料金を定めたり、施設の維持管理を行う上でも最低限の料金設定にはなっていると考えておりますと答弁しております。坂下議員からは、実際、えびの市、高原は無料とお聞きしているということで、ぜひ西諸管内では料金設定の歩調を合わせたほうがいいんじゃないかということで質問がありました。これについて教育長が、高原は、練習は減免で練習試合のほうは通常どおりの料金を取っているというふうに聞いておりますが、西諸でやはり歩調を合わせるの

は、各市町での考え方に違いがありますので、難しい問題ではないかという
ことで答弁しております。

一般質問については以上になります。

続きましては、議案質疑になります。

33ページ、学校教育課のキャリア教育推進事業費についての質問があり
ました。コーディネーターはどんな資格を有した人を考えているのかとい
うことで、私が答えております。

それから、35ページ、窪菌委員から、キャリア教育推進事業についての
意義と目的、それと内容についての質問があったので、私が答えておりま
す。

それから、37ページになります。吉藤議員のほうから学校保健管理事業
費の中の質問がありました。この中で、歯科健診などの状況、それから、
小中学校におけるフッ化物洗口についての予定はないかということでお尋
ねがありました。

学校保健管理事業費については、主に学校保健安全法に基づいて児童生徒
を初め、教職員の健康管理に伴う予算でありますということで答えており
ます。それから、フッ化物洗口については、小林市では実施しておりませ
ないので、予算計上はこの中にはありませんということで答えております。

それを受けまして吉藤議員のほうが、平成27年度の市町村別12歳児の
虫歯有病率を見ますと、宮崎県内では、県平均よりも全国平均よりも小林
市が高い状況にありますということで言われました。それから、フッ化物
洗口については、今後、また一般質問でもしていきたいということで今回
の議案質疑は終わりました。

それから、41ページになります。原議員から、ハーフマラソンを行った
ときに委員会の補助を500万しているんですけども、500万で賄え
るのかとか、絶景マラソンとありますが絶景になっていたのか、盛り上が
りに欠けたのではないかということで質問がありました。今回は第1回目
でしたので、第2回目に向けて、実行委員会、運営委員会での検証をして
十分検討していきたいということで答えております。

それから、43ページからが総務文教委員会の学校教育、それから社会教

育、スポーツ振興、野尻分室、須木分室のそれぞれの質問と回答を書いております。

報告については以上になります。

槇委員長

ありがとうございます。

何かご質問ないでしょうか、今のご報告について。よろしいですか。(なし)

槇委員長

報告第8号小林市スポーツ推進審議会からの答申についてお願いいたします。

深田スポーツ振興課長 平成27年11月1日付、保体第147号によりまして諮問のあ

りました件につきまして答申をさせていただきたいと思えます。

小林市スポーツ推進審議会会長、安楽重則氏より教育委員会へ、諮問内容であります小林市スポーツ推進計画の策定に関することにつきまして答申がありましたので、ご報告させていただきます。

制定委員会の経過といたしましては、5回ほど審議会を行いまして、本日、お手元に推進計画の案をご提示させていただいております。答申があったということでご報告にかえさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

槇委員長

それでは、議案に入りたいと思えます。

議案第7号小林市スポーツ推進計画についてお願いいたします。

深田スポーツ振興課長 先般の臨時教育委員会に引き続き、スポーツ推進計画の案をご提

示させていただきました。中身につきまして若干説明をさせていただきたいと思えます。

まず、2ページをお開きをお願いしたいと思えます。

今回の計画の特性でございます。本計画につきましては、第2次小林市総合計画に対するスポーツ分野の個別計画として位置づけまして、今後のスポーツ推進のために必要な具体的施策の推進計画といたします。計画の実施に当たっては、学校、家庭、地域住民、各種グループ、協議団体及び行政の関係部署が一体となって推進してまいりたいと考えております。

表3番目の期間でございます。本計画につきましては、平成29年度を初

年度といたしまして平成38年度までの10年間とし、おおむね5年をめぐりに再検討を行い、適宜見直しを行うなど、計画の実効性を高めてまいりたいと考えております。

3ページをお願いいたします。

基本理念でございます。

本市では、第2次小林市総合計画で4つの基本構想を立てて市政を推進してまいります。そのうちの1つであります「まなび」分野において、「生涯を通して学び合い育ち合うまち」を掲げ、スポーツ分野におきましては、「スポーツ・体づくりを推進します」という基本政策によりまして、さまざまな事業を展開してまいりたいと考えております。「スポーツで育つまち 小林市～真のスポーツのまち小林を目指して～」を基本理念といたしまして、スポーツによるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

続きまして、4ページから14ページにつきましては、10項目にわたって現状と課題を掲載いたしております。

この現状と課題を受けまして、15ページをお開き願いたいと思います。

15ページに基本方針と施策の体系図を掲載いたしております。施策の大綱といたしましては、総合計画の中にあります「まなび」の中の「スポーツ・体づくりを推進します」ということになっております。基本理念といたしまして、先ほど申し上げましたとおり、「スポーツで育つまち 小林市～真のスポーツのまち小林を目指して～」ということで基本理念を掲げております。

基本方針といたしまして、5つ立てております。1本目が生涯スポーツの推進、2本目が競技力の向上、3本目がスポーツ環境の整備と充実、4本目がスポーツツーリズムの推進、5本目がスポーツ・体づくりに関する食育の推進というこの5本の基本方針に沿って、今後事業等を展開してまいりたいと考えております。

17ページから24ページまでにつきましては、この5つの基本方針を実施するための具体的内容を記載しております。

最後に、学びと健康を大切にしながら生涯にわたりスポーツに取り組むことにより、小林市民として豊かで創造的な生活を送るために、10年間を

視野に入れたスポーツ推進計画の策定を行ったところでございます。

以上、簡単ではございますが、経過報告等を踏まえて説明にかえさせていただきます。ご審議方、よろしくお願いいたします。

楨委員長 ありがとうございます。

では、ご質問ないですか。

大部菌委員長職務代理者 ちょっと細かいことかもしれませんが、19ページの下側に写真があるんですが、市民スポーツ祭の大運動会の写真とあかつき運動会というのがあるんですが、この前のページから見ると、先に18ページに障害者スポーツということがあって地域のスポーツでこばやし大運動会となっているので、これが逆がいいんじゃないかなと。順番からして、写真の入れかえがいいのかなとは思いました。

深田スポーツ振興課長 今、大部菌委員のほうからありましたので、ここにつきましては、持ち帰りまして検討をさせていただきたいと思います。

大部菌委員長職務代理者 もう一点なんです、21ページの表の中で、市の体育協会のスポーツ賞受賞者数があるんですが、総合計画の中ではこの説明がちょっと入っていましたよね。個人は1団体として数える、これを入れたほうがいいのかと思ったんですが。じゃないと、団体の数がこれだけになるのかなとなるので、説明をちょっと入れたほうがいいのかと思いました。

深田スポーツ振興課長 今の部分につきましても、注意書きを挿入するような方向で検討をさせていただきたいと思います。

楨委員長 ほかに何かないですか。

中屋敷教育長 24ページです。基本方針5、スポーツ・体づくりに関する食育の推進の下ですが、「全てのスポーツ活動や体づくりを行う土台」というふうにしなないと上とつり合わないのかなと思います。それが1点と、その下のところの2行目、「体づくりやスポーツ活動の基盤」とここでは逆転していますので、スポーツ活動を先に持ってきて「スポーツ活動や体づくりの基盤」とすればずっと同じような文言になるのかなと思います。

以上です。

楨委員長 ほかにないですか。

山中委員 15ページの施策の大綱の表の「スポーツ・からだづくりを推進します」

なんですが、この「からだづくり」と右上のほうの一番下の5番の「体づくり」、これはどちらかに、あえてしてるのか、統一されたほうがいいのか。ほかは大体「体づくり」になっています、ここだけが平仮名に。

榎委員長 ほかにないですか。

中屋敷教育長 23ページの下目標の表のところ、大会誘致数だけが1、1、1と並んでいて累積じゃないんですね。それで、下のほうに※印で「大会誘致数については、毎年1件新たな大会を誘致する」というコメントを入れてはいるんですけども、これでよろしいですかね。つまり、1、2、3、4、5、6とすればほかの目標と同じにはなるんですね。ここだけが累積していない形で見方がほかの表と違うので。

榎委員長 上と下が違いますね、読み方がどうですか。

中屋敷教育長 誤解がなければよいのですが。1、2、3、4にしていくと、30年度は3件誘致するというふうに誤解を生じないためにこうしているという意味はあるんです。

榎委員長 結局3件になるわけですね。

中屋敷教育長 なるんですけど、その年度で3というふうに見られてしまうということ为了避免のためにこういうふうにしてあるということをご理解いただければ、もうこのままでいいと思います。

榎委員長 新たに3件ととられる感じがあるということですよ、3件と書くと。

中屋敷教育長 もうわかりやすければこのままでいいんですけど。

榎委員長 1、2、3、4、5、6としておいて、下に「大会誘致数については、毎年1件新たな大会を誘致する」としたほうがわかりやすいかもしれませんね。

中屋敷教育長 そうすると全部パターンはそろふことはそろふんですけども。

榎委員長 そうですよ。前が合宿団体数でこれは全体の数ですよ、8団体、20団体、22団体、22団体、24団体ということは、8団体を33年度には、16団体ふやすということですよ。だから、それと同じような考え方だったら、やっぱり1、2、3、4、5、6のほうがわかりやすいのかもしれない。

中屋敷教育長　そして※印は残すと、そのほうが、表記がほかのと違うので。

槇委員長　ほかはないですか。

大部菌委員長職務代理者　13ページの文章の中で、朝食の内容についてはという部分があるんですが、中学生になるとヨーグルトやプリンなどのデザートのみという生徒が増加しているという文章があるんですけど、この下の表を見たときに、小学生は何%というか、何人だったのでしょうか。何人に対して8でふえていると表現していらっしゃるのかなと思ったんですけど、単純に、この下の表を見て。そんなにプリントかヨーグルトを食べている子が中学生になると極端にふえているのかなと、小学生のほうの情報がちょっと欲しいなと単純に思いました。

深田スポーツ振興課長　この部分につきましては、アンケートをもう一回確認させていただきたいと思います。

槇委員長　次回報告でよろしいですか。

大部菌委員長職務代理者　はい。

中屋敷教育長　そしたら、ここで次回報告だともう4月の定例教育委員会になってしまうので、一応事務局で預かって、こうなりましたというのを電話か持ち回りで出すという形でよろしいですか。29年度からですので。

槇委員長　4月からですよ。4月1日ですね。

中屋敷教育長　はい、4月からになりますので、すぐ事務局では再度検討して、結果をお知らせしてから出すということよろしいですか。

槇委員長　その線を受けてこれでよかったということを今日決定すればよかったですよ。

中屋敷教育長　今日認めてもらったところはちょっと預かる部分が多いので、その分についてはまたこちらで整理をさせていただいて、事前にお知らせをして、そして4月1日までに出したいと思います。

槇委員長　ほかのところはもうよろしいですかね、答申どおりで。

大部菌委員長職務代理者　24ページの食育の推進の中で、総合計画の文言の中に小林市食育・地産地消推進計画に基づきというような内容があるんですが、そこはこの中には組み込まなくてもよかったのでしょうか。

深田スポーツ振興課長　今回の場合はスポーツ推進計画ということで、スポーツを行う上

での体づくりという観点から、今回、朝ご飯を食べる生徒の割合とか、こういう目標にさせていただきました。もちろん総合計画はあくまでも農業振興であったりとか、市長部局と連携する部分であったりとかが多々ありますので、今回、スポーツ推進計画のほうには、改めて地産地消の推進などの文言は一応入れなかったところでございます。

榎委員長 よろしいですか。

山中委員 見にくい指摘なんですけど、例えば10ページの表の角丸の四角、これが真ん中のウォーキング、グラウンドゴルフ、ゴルフコースではゴルフコースにひっかかっている、その下の釣りのほうにひっかかっている、どこまでなのかなというのがちょっと気になるところで。あと何か所かあったと思うんですけど。

この間も聞いたかもしれないんですけど、どうしてここに角丸がかかっているのかというただし書きがどこにもないんですね。赤線か何かだったと思うんですけど。ただし書きは要らないでしょうかね。

深田スポーツ振興課長 そこについても、もう一回確認をさせていただきたいと思います。

山中委員 すみません。初めて見た人はちょっと、分かりにくいかもしれません。

榎委員長 ありがとうございます。

ほかにないですか。(なし)

じゃ、よろしくをお願いします。

深田スポーツ振興課長 はい、わかりました。

榎委員長 カラーも見たいということですので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。

榎委員長 続きまして、議案第8号市職員(教育委員会事務局)の人事異動についてお願いします。人事案件のため、関係職員は退出して下さい。

(以下、非公開のため省略)

榎委員長 それでは、平成29年第4回の小林市教育委員会を終わりたいと思います。どうもご苦労さまでした。

閉会 : 16:50